

ゴールデンウィークにおける口蹄疫・豚コレラ等の防疫対策を徹底しましょう！

東アジア地域では口蹄疫が継続発生（牛・豚）し、国内では豚コレラ（豚）が発生しています。ゴールデンウィークには海外への渡航者や国内での人や物の移動が増えることから、家畜伝染病の病原体の農場への**侵入リスクが高くなります**。畜産関係者は本病発生地域への**渡航は自粛し**、仮に**渡航する際には以下の点に留意**してください。また、**飼養衛生管理基準の遵守を徹底し**、家畜の異状を発見したときは、遅滞なく、獣医師又は家畜保健衛生所に通報してください。（休日、下記携帯電話番号へ）

発生予防の重要ポイント

《海外渡航に当たっての留意事項》

- ①農場、家畜市場、と畜場等の家畜関連施設には立ち入らない
- ②動物との不用意な接触を避ける
- ③肉製品等は日本に持ち帰らない
- ④帰国の際には、到着した空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導を受ける

《帰国後の留意事項》

- ①帰国後一週間、畜舎など衛生管理区域には立ち入らない
- ②海外で使用した衣服及び靴を衛生管理区域には持ち込まない



むつ家畜保健衛生所：090-5841-6810

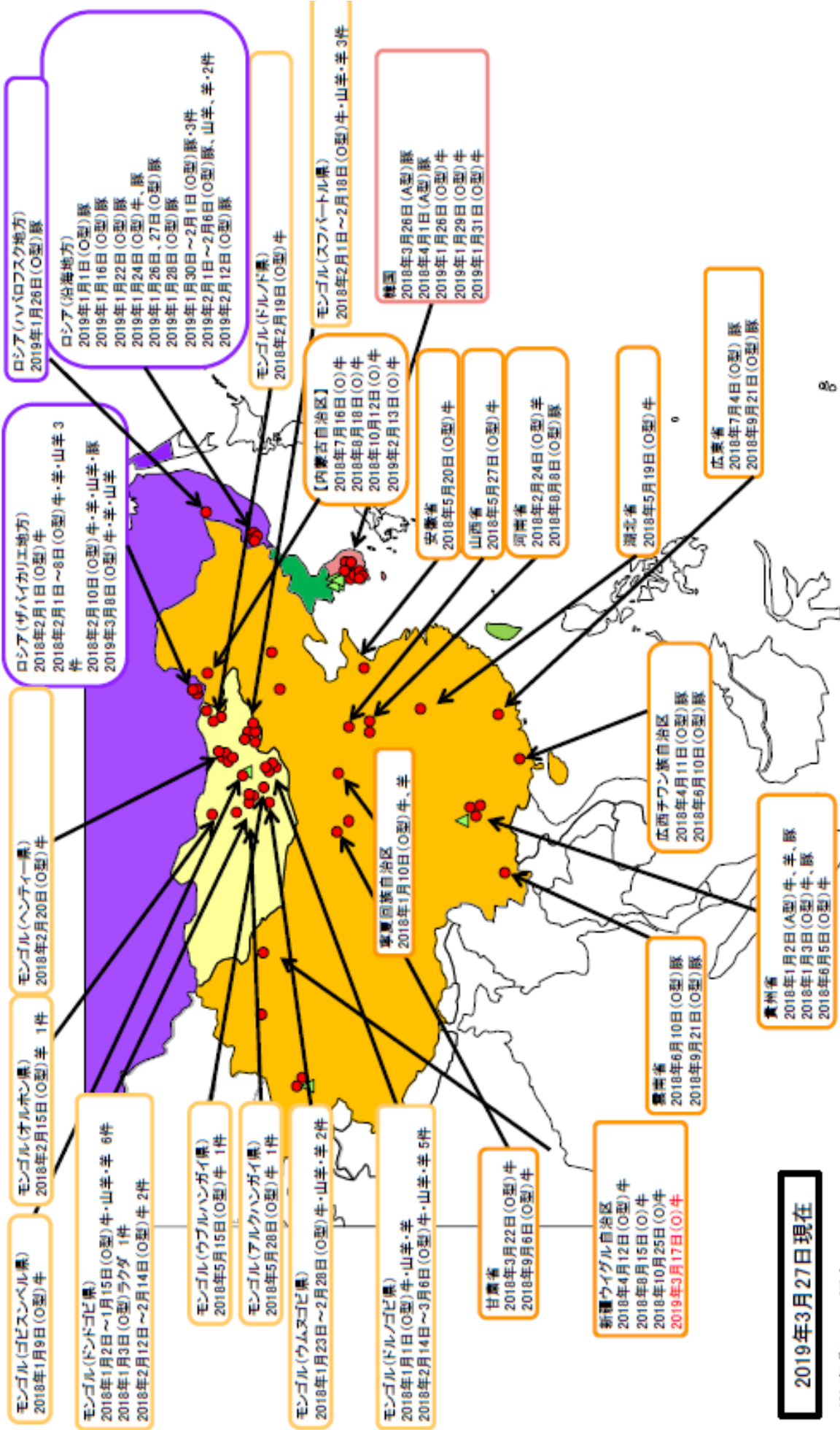


〒035-0072 むつ市金谷2丁目18-25

電話 0175-22-1254 FAX0175-22-125

下北県民局地域農林水産部むつ家畜保健衛生所 むつ地区家畜衛生推進協議会

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況（2018年1月以降の発生）



※ 出典: OIEほか
 ※ 赤字は更新箇所
 ※ 日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)
 ※ ロシアは東アジアの近接地域に限る

▲ : A型口蹄疫
 ● : O型口蹄疫